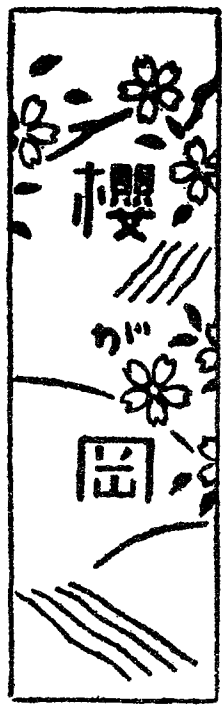


突然ですが、みなさまは日頃、本を読まれていますでしょうか？また読書は好きでしょうか？私はこどもの頃、本を読むのが苦手でした。どちらかというと外で遊ぶことの方が性に合っていたのでしょいか、本を読んでいても、他のことが気になって集中できなかったように思います。またせつちかなくところがあり、知りたことは、今すぐに知りたいと思うタイプであったので、じっくり本を読んで知ろうとするよりも、すぐに「なんだ？」「どうして？」と聞いていたように思います。そんな子ども時代を過ごしたのですが、大学生になってから本を読むようになりました。というのも当時は、大学の教授が書いた本が授業のテキストになることが多く、専門書なので一冊が二千〜五千円するのです。一読難解で、読んでも???が頭に浮かぶだけでした。もっと子どもの時に本を読むべきだったと悔いたことを覚えています。子どもの

時の時間を取り戻すことはできません。でも、せめて今からでも粘り強く本を読もうかと心に決めて「読み切ること」にトライしました。先述の通り集中できないのは大学生になってもそう変わらなかったのになかなか苦しかったです。しかし自分に負荷をかけることで、読むことに抵抗がなくなりはじめ、肌感覚ですが、次第に他のことが気になったりすることも減り、集中する時間にも長くなったように感じました。不思議なことにはじつくり読むことが身についてくると、はじめは読むだけだったものが、その内容に対して「なるほど」とか「それはおかしいだろ」という自分の考えが出てくるようになってきたことを覚えています。もちろんもとと「なんで？」と聞くタイプであったことも、本を読んで自分の考えを持つようになる後押しとなったとも思います。また読破した後の満足感や達成感もあり、次は何を読もうかという気持ちになったのも覚えています。

仕事をしてからは、なかなか忙しくて本を読む時間をまとめることはできていませんが、少しの時間でも本に手が伸びる



令和6年6月号
編集発行人
京都府亀岡市内丸町15
亀岡市立亀岡小学校
飛田祥
印刷所(株)天声社

5年ぶりの児童集会

ようになり、十々十五頁だけでも読むようになったのは、大学時代に粘り強く本を読むことにトライしたからこそだと思えます。

最近では、スピード感のある情報が求められることから、本の形も様変わりし、電子書籍だけでなく、音声による、読書ならぬ「聴書」も出ています。一方で生成AIの普及によって、キーワードや簡単な情報を入れるだけで、正誤は別に於て即座に答えを出すしてくれる時代となりました。なんとなく粘り強く自分で試行錯誤してやり遂げる環境がなくなってきたように思います。

いろいろな形があつていいと思います。が、自分自身の経験から、粘り強く読むこと、読んだ本の内容に対して自分の考えを持つことにつながるものであつてほしいと思えます。

ちよつと面倒くさいと思われがちな「本を読むこと」かもしれないが、「本を読むこと」を通して得られる良さと読み終えた後の満足感・達成感をぜひ子どもたちにも味わわせたいと思っています。

思います。

ちよつと面倒くさいと思われがちな「本を読むこと」かもしれないが、「本を読むこと」を通して得られる良さや読み終えた後の満足感・達成感をぜひ子どもたちにも味わわせたいと思っています。

日曜	1日	土曜	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	備考			
入学式 挙行 一日	学校行事			六年生休校日 学びのパスポート四年	六年生休校日 学びのパスポート四年 六年生四校時授業(13時10分下校)	学びのパスポート六年	フットボール 流口			児童委員会⑥ 人権週間(21日)	全校A五校時(14時35分下校)	フットボール 流口					野外学習 一日(15日)	野外学習 一日(15日) 学年大会の週(27日まで)	五年生休校日 五年生四校時授業(13時10分下校)	フットボール 流口			クラブ②⑥(四・六年) 計算大会の週(7月6日まで)		全校A五校時(14時35分下校) かめのこりく⑤	フットボール 流口				七月の主な行事 ①(初)児童委員会 ④日(初)フットボール(二)学期総会 ⑤日(初)夏季運動会 ⑧日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会⑥ ⑨日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会②③④ ⑩日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑪日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑫日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑬日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑭日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑮日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑯日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑰日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑱日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑲日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ⑳日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉑日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉒日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉓日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉔日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉕日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉖日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉗日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉘日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉙日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉚日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉛日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉜日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉝日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉞日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㉟日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊱日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊲日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊳日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊴日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊵日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊶日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊷日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊸日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊹日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊺日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊻日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊼日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊽日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊾日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤ ㊿日(初)五校時(13時40分下校) 町別運動会③④⑤	学びのパスポート(五・六)	特別三校時(11時30分下校)	22日(初)サマースクール(日)(A・M)	23日(初)サマースクール(日)(A・M)	24日(初)サマースクール(日)(A・M)

六月行事予定表

「一年生をむかえるかい」 うれしかったよ

一年

あさがおのたねのぶれぜんとをもらってうれしかったよ。どんないろのはながさくのかたのしみだよ。

一年

あさがおのたねのたねのぶれぜんとをもらってうれしかったよ。ぼくも二ねんせいになったら、一ねんせいにあげたいな。

一年

もうじゅうがりがたのしかったよ。みんなでこえをあわせてかけこえをいうのがたのしかったよ。

一年

一ねんせいといっしょにこうかをうたたことがたのしかったよ。おおきなこえでうたえたよ。

一年

いっしょにした、げえむがたのしかったよ。もうじゅうがりがとてもたのしかったよ。

一年

二ねんせいにてがみをもらったのが、うれしかったよ。あおふあいるにだいじにしまっているよ。



一年

一ねんせいと二ねんせいがかんけいなく、てをつないだのがたのしかったよ。じこしようかいとかおしやべりができて、よかったよ。

一年

二ねんせいとも、なまえをおしえあつて、みんなのなまえをくれたのがうれしかったよ。

「一年生をむかえるかい」をしたよ

二年

じこしようかいがたのしかったです。なぜかというともだちといっぱいなかよくなれたからです。つきも一年生といっぱいなかよくになりたいです。一年生にまたプレゼントをあげたいです。きょうは、いっばい一年生とあそべてとてもうれしかったです。こんどは一年生とドッチボールをしてあそびたいです。

二年

一年生とじこしようかいをして名まえをしらなかった子の名まえがわかりました。すきなたべものやすきな色をおしえあつて、一年生のことがわかったからたのしかったです。こんど、もうじゅうがりをするときはちがう一年生とじこしようかいしたいです。こんどは、一年生がすきなことをやってあげたいです。

二年

一年生とたのしくできてうれしかったです。もうじゅうがりがたのしかったです。なぜかという、一年生と二年生で

じこしようかいができたからです。すてきなむかえるかいができてうれしかったです。こんどは、一年生といっしょにべんきょうしたいです。

二年

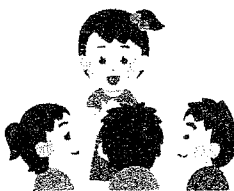
わたしは、「一年生をむかえる会」のじつこういんをしました。さいしよは、はずかしかったけど、一年生にたのしんでもらえて、とてもうれしかったです。また、いっしょにあそんだり、校かをうたったりしたいです。いろいろな一年生の名まえやかおをくれたのがうれしかったです。

二年

一年生と二年生で、じこしようかいができてたのしかったです。一年生と二年生でいっしょに校かをうたえてたのしかったです。一年生にあさがおのたねをわたせてうれしかったです。一年生ともうじゅうがりができてたのしかったです。でもだちがたくさんできてうれしかったです。

二年

たのしかったことは、一年生とうたをうたったり、もうじゅうがりをしたりしたことです。どきどきするとおもったけど、やたらたのしかったです。いっばい一年生に声をかけられて、すぐたのしかったです。「一年生をむかえる会」がせいこうしてうれしかったです。



春のくらし

さくら

三年

さくら ゆらゆら

木もゆらゆらゆれる

さくらの花くんくん

ピンク色の花

ゆらゆら気持ちいい

たけのこが大きくなった

三年

雨がふったたけのこ

大きくなった

ぐんぐん大きくなった

人より大きくなった

どこまで大きくなるかな。

たまごやき

三年

ぼくが家でやっていることは、たまごやきを作ることです。

ぼくは、たまごやきせんようのやつで作っています。たまごやきを作っていて、一番たいへんなのは、まくことです。一番たいせつなのは、あぶらをフライパンにひくことと、こがさないことです。

たいへんなこともあるけど、楽しいです。

六年生スタートの一ヶ月をふり返って

六年

私は六年三組の一ヶ月をふり返って、私もクラスのみんなも成長したと感じます。

初めに、クラスのことについて書きま。このクラスの第一印象は、楽しいクラスでした。でも、この一ヶ月を通して、やる時はやって楽しむ時は楽しむというメリハリのあるクラスという印象が変わってきました。これは、クラスが成長しているということだと感じます。他にも、クラス全体の挙手の数も明らかに増えていきますし、自分で周りを見てできることを考えて行動する自立行動も増えていきます。

次に、自分のことについて書きます。私は、本部としてクラスを引っ張る行動が少しはできたと感じています。例えば、給食当番じゃなくても給食の片付けを自分から手伝ったり、ホワイトボードを自分から消したり、クラスや班にポジティブな声かけをしたりできたことです。でも、ここで満足するのではなく、本部としても班長の一員としても、普通ではなく一つ上の基準で行動することをこれから心がけたいです。

クラスも自分もこの一年でもまだまだ成長できると思います。

六年生として一ヶ月間すごして

六年

わたしがこの約一ヶ月間を過ごして、学習面と生活面で成長したことがあります。これは六年生生活でこれからも使っていきたいことです。

まず学習面では、「まずは自分で考える」ということが今までより出来るようになりました。これまでは分からなかったら友達に聞くことが多かったけど、この一ヶ月まずは自分で考えることができた。

そして生活面では、あいさつがだれにでもできるようになりました。これまでは知っている人にしかできなかったけど、今では地域の人などにもできるようになりました。あいさつをしていると、とても気持ちがいいのでこれからもつづけていきたいです。

最後に修学旅行の目標は「どんなことでもいいから成長をとげる」です。なぜ、この目標にしたかというただ行くだけではなく、意味のあるものに行きたいと思っただからです。これからももっと成長して安心して卒業できるようにがんばりたいと思います。

六年

わたしは、この一ヶ月を終えて成長したことが二つ、そして課題が一つ見つかりました。成長したところの一つ目は、授業中に手を挙げるのができるようになったことです。これまでは、ちょっとしか手を挙げなかったり、間違えたらどうしようかと不安になって手を挙げる回数が減ったりしていたけれど、六年生がスタートしてからは、周りの友達は代わったけれど、前より手を挙げて発表する機会が増えました。二つ目は、最高学年としての意識をすることができるようになりました。これまでは、六年生をサポートし、支える側だったけれど、今は自分たちが頑張ることが大切だと思いました。最高学年がルールを破ったり危ない行動をしたりすると、低学年がまねをしてしまう

こともあるので、しっかりとリーダーシップをとって頼られる六年生になりたいです。

次に課題についてです。わたしの課題は、あいさつです。あいさつはされたらとてもうれしいし、自分からするものでも気持ちが良いことです。あいさつも低学年の見本となるよう、元気にしていきたいと思っています。

これからは、もっとたくさん成長を増やして、課題を減らしていきたいし、最高学年としての自覚を持って、楽しく学校生活を送っていききたいなと思います。まだまだ、六年生は始まったばかりなので、目標に向かってこつこつと頑張る、さらに協力し合って六年生で頑張っていきたいです。

「いっぱい いっぱい」

二年担任

今年度、二年生の学年目標を「いっぱい いっぱい」としました。

私自身、これまでの人生の中で、勢い何かが行動をおこしたり、急かされて活動したりすることで、たくさん失敗をしてきました。大抵のことは、一足飛びにやって成功することはないというのが自分自身の経験上、感じていることです。もっと慎重にやればよかったなあ。と思うことはいくつもあり、今でも、多々そんな経験を続けています。その中で、「いっぱい いっぱい」力をつけることの大切さを日々痛感しているところでもあります。

着実に力をつけ、何かができるようになった時、人は自信がつき、次への意欲が高まります。そうすると、力がつくだけでなく、心も満たされていきます。そ

うすると人との関わり方も柔らかくなっています。そんな学年集団になっていけば、学習も遊びも人間関係も充実した一年になるのではないかと考えています。素直で優しく元気いっぱいいる二年生は、この二ヶ月間で、一年生のお手本として一生懸命に活動しています。

低学年下校では、一年生が安全に帰れるように、二年生が先頭と後ろに分かれて、その間に一年生を挟むようにしています。先頭の班長は、後ろを振り返り、一年生がついてこれているかを確認しながら歩いています。後ろの子どもは、一年生が遅れないように声をかけてくれています。もちろん全てが順調なわけではないですが、試行錯誤しながら安全に下校できるように頑張ってくれています。五月には、「二年生を迎える会」をしました。一緒に校歌を歌ったり、「もうじゅうがりの」ゲームをしたり、朝顔の種をプレゼントに渡したりしました。

一年生に楽しんでもらうためにはどうしたらよいかを考え、実行委員を中心に行動することができました。一年生の「楽しかった。」という言葉聞いて、うれしそうにしている子どもたちの姿に、喜びと成長を感じました。

ふりかえりでは、一年生の時に二年生からしてもらった経験を思い出し、一年生にしてあげたいことや、一年生と一緒にしたいことを書いており、次につながる感想をもっている子がたくさんいました。

二年生が始まってからまだ二ヶ月ですが、日々の成功体験が、次への活力となっていることを実感しました。これからも「いっぱい いっぱい」力をつけて成長して欲しいことを期待し、サポートしていきたいと思っています。

しょうらいのゆめについて

三年

わたしのしょうらいのゆめは、イラストレーターです。

イラストレーターというしょくぎょうは、ぬり絵の絵をかいたりする人です。絵がもつと上手になったら、すぐにイラストレーターになれるように、自由ちようとかに絵をたくさんかいていきたいです。

はやくイラストレーターになってみたいです。

一二のとくいなこと

四年

ぼくのとくいなことは、はんぶく横とびです。ぼくが、なぜはんぶく横とびがとくいかという二年生のときに三十秒間で四十四回とべたからです。

そしてもう一つとくいなことは、たまごやきをつくることです。たまごやきを作るとき、ぼくは、さいしょに母さんからたまごやきの作り方を教えてもらいました。だから、ぼくは、その作り方でたまごやきを作ったらうまくできました。お母さんに食べてもらったら、

「とてもおいしい。」
と言ってくれました。だから、たまに作ってあげています。たまに、しつぱいすることもあるけれど、上手にできているときはとてもうれしいです。



ぼくのとくいなこと

四年

ぼくは、とくいなことが二つあります。一つ目は、泳ぐことです。とくいな理由は、スイミングをやりにこんでいるからです。水中で泳ぐことができたなら、水でいろいろなことをできるので楽しいです。

二つ目は、ボールをよけることです。とくいな理由は、ボールを目で追いかけてよけることができるからです。たまに当てることはありますが、よけることができます。とくいなことは、人それぞれあるけれど、ぼくは、とくいなことができたらずごく気持ちがいいです。

わたしのとくいなこと

四年

わたしのとくいなことは、三つあります。一つ目は、水泳です。理由は、保育園のころから水泳を習っているからです。

はじめはこわかったけど、れんしゅうをしていくうちに、たくさん泳げるようになりました。今は、バタフライをれんしゅうして、これからもたくさん泳げるようになります。二つ目は、なわとびです。理由は、小学一年生の時からなわとびが好きで、ぜんぜんその時はとべませんでしたが、たくさんれんしゅうをしてとべるようになりました。今は、二重とびがとべるようになりました。次は、三三とびがとべるようになります。三つ目は、絵をかくことです。理由は、保育園の時から絵をかくことが好きで、人や動物の絵をかいていました。はじめは上手にかけなかったけど、たくさんれんしゅうをして今は保育園の時よりも上手になりました。今は、人の体を上手に

かくのができないのもっと上手になりたいです。

ぼくのとくいなこと

四年

ぼくのとくいなことは、二つあります。一つ目は、サッカーです。理由は、二つあります。一つ目は、サッカーを習って六年になるからです。二つ目は、お兄ちゃんが習っているからです。ぼくは、思ったとおりにプレーができるようになるよう、れんしゅうをいっぱいがんばりたいです。

二つ目は、習字です。上手に書けないときは、少しくやしいけど上手に書けたときはうれいす。先生も字の形が上手だとほめてくれます。サッカーも習字もいっばいれんしゅうして、もつととくいになります。

国語「季節の言葉」春の空」を学習して、自分の感じる春らしいものや様子を、文章に書き表しました。

五年

クラスがえ

ドキドキするけど

楽しみだ

五年

白い道

もも色になり

あたたかい

五年

新しい

出会いと別れ

花の雨

空泳ぐ

五年

五月の魚

風のぼる

五年

みどりばうし

真つ赤にそまった

くだものだ

五年

桜の花びら

びゅんびゅん飛んでる

春の風

五年

春の夜

まだまだねむい

春みんだ

五年

春の雨

花びらひらひら

きれいだな

五年

きれいだな

桜にのって

ひとつ飛び

五年

春が去る

春は悲しい

別れ霜